

Vories
cure&care

病院ホームページアドレス
http://www.vories.or.jp/



ヴォーリス
だより

2015年（平成27年）12月1日 第102号

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

☆来るべき開院100周年、当院・第二ステージのあるべき姿☆

事務部長 堀 井 由 高



11月22日に訪れた古都・清水寺の紅葉は、茲許の暖かさの影響か、まだピークには程遠い色彩でした。一転、25日以降の寒波は、秋を通り越し一気に冬の到来を感じるこの頃です。

近隣の山々を借景にしたヴォーリスの里の雪景色は、息をのみ心を洗われるが如き風物詩ですが、何かと慌ただしい師走を迎え、インフルエンザ等にも負けない万全の体調管理で越年したいものです。

当院は、2018年5月に開院100周年を迎えます。一般事業所でも100年を越える優良企業はそう多くはなく、県内病院では五指に入る歴史を誇ります。創立者ヴォーリス師の先見の明と、営々と引継がれて来た先達の弛まぬ努力には改めて頭の下がる思いですが、これからの経営は時流を的確に見据えた戦略なくしては生き残ることが困難な時代です。

先月実施の、野球の世界ランキング12位までの国・地域が出場する『プレミア12』において日本は、残念ながら準決勝で韓国の終盤の猛攻に屈し、3位となりました。8回までほぼ完璧な試合運びで、誰もが安心して勝利を疑わなかった中での悪夢の9回。一瞬の判断・決断の間違いや遅れは、もう怒濤の如き試合の流れを変えることができず、この事は我々にも大きな示唆を与えてくれた一場面でした。

国は、高齢化や医療技術の進歩に伴う年間40兆円を超える医療費の抑制に躍起で、来年度の診療報酬改定もマイナス改定が必至の情勢です。また、『地域医療構想』と銘打ち、2025年を展望した医療需要と必要病床数の推計が、都道府県・医療圏域（当院は東近江圏域）毎に議論が始まっています。更には、病気や高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる『近江八幡市地域包括ケアシステムや総合介護計画』にどう関わって行くのか。等々、国・県の施策の動向、また地域ニーズや人口・年齢の推移を的確に捉えた戦略と舵取りは、今後の当院の存亡に関わる大きな課題です。

一方、その過程でコンプライアンスやコーポレートガバナンスが車の両輪として機能していなければ、事業体として淘汰されかねない事を、我々は貴重な経験教訓から骨身に染みて学んだ筈です。しっかりと地に足をつけた病院運営をしていかなければなりません。

現在、㈱プリオホールディングスさんと共に、喫緊の経営諸課題の解決に向けたプロジェクトに取り組んでいます。①療養病棟入院基本料2から1へのランクアップ、②地域包括ケア病床の増床、③老健センターやケアハウスとの有効な連携態勢の有り方等、ややもすると従来気付かなかった別角度からの検証や具体的方法論が見つけられなかった問題解決の糸口を分かり易くご教示いただいています。

間もなく迎える100周年及び新たな第二ステージも、当院が地域に根ざした存在感のある病院であり続ける為には、我々には何が必要でしょうか。

弱者に寄り添う人間としての根本的な優しさ、期待を裏切らない職業人としての責任感と自負、ポジティブ思考、クイックレスポンス、既成概念からの脱却、「病院は私に何をしてくれるか」から「私は病院に何の貢献が出来るか」への発想転換、等が正に問われて来ようかと思料します。

全員一丸となって英知を結集し、着実に一步一步前進して行きましょう。

☆インフルエンザを予防するために☆

1. 予防注射をしましょう。
2. うがい・手洗いはこまめに。
3. 外出するときは、マスクを着用しましょう。

院内感染対策委員会

今
月
の
聖
句

わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。

旧約聖書 出エジプト記 20章5節



チャブレン 安 部 勉

今年のプロ野球、ソフトバンクホークスが日本一になりました。今年、ホークスが掲げたキャッチフレーズが「熱男」。これで「あつお」と読ませたことを日本シリーズになって知りました。工藤監督が幾つかの候補から選んだそうです。この「熱男」にした理由について球団は「どんなときも、決してあきらめず、前向きに、情熱的に突き進む。今の自分に満足することなく、向上心と探究心をもちつづけ、笑顔で、元気に、アツく、熱く、突き進む！ そんな、気持ちを持った人」の集団でありたいとの願いだったそうです。

今月の聖句、神ご自身が人々にこう語りました。「わたしは熱情の神である。」と。情熱、という言葉であれば清々しくも聞こえます。エネルギー一杯に活動しているように。でも「熱情」というと違った意味合いを感じます。何か「熱さ」を強く感じませんか？

実は「熱情の神」とありますが、以前の聖書の日本語訳では「ねたむ神」と書かれていました。

「ねたむ神」

漢字で書けば「妬む」。「嫉妬する」という意味あいでしょう。この言葉は神さまが奴隷であったユダヤの人々をエジプトから解放へと導いた時、「わたしはあなたの神である」と宣言した場面にでてくる言葉です。そして神さまは続いてユダヤの人々に「戒め」を授けました。この戒めは「十戒」とも言われ、ユダヤの人々が神さまとの契約によって与えられたと言われている最も大切な「律法」です。神さまと契約した「法律」と言えましょう。

聖書は「神ご自身がユダヤの人々を契約の民として選んだ」と書かれます。その神さまは「熱情」「ねたむ神」である、と。

「ねたむ」というのは「自分のほうだけを向いてい

て欲しい」ときの気持ちではないでしょうか。他の人と仲良くしている姿を見て、大切な人に抱く思い。自分より他の人を大切にしたり、尊重したりする時の思い。そんな時に浮かぶのが「ねたみ」でしょう。

聖書を通して示される神さまはこうして「人との関係」の中で「熱い」思いの方として描かれます。でも、ユダヤの人々の神さまへの反逆や見限り、そして他の神々へ頼ったことなど「契約」を守り切ることのできない弱さや人間らしさも描きます。

聖書の物語ではこのような神さまを裏切り続けるユダヤの民に対して「もう我慢ならない」と神さまが何度も「裁き」を示しました。しかし神さまは私たちと「共に歩む」と言われているのです。聖書では神さまの戒め、神さまの思いに従えないことを「罪」と呼びました。

もうすぐクリスマスを迎えます。イエス様の誕生を喜ぶのは「もう『裁き』を恐れることはないよ！創られた者すべてを神さまは『大切に思っているよ』」と私たちに示してくださったからです。

神さまの思い、それは私たちの「気持ち」に訴える方であると。

喜びだけでなく、悲しみや怒り、憎しみや嬉しさ、優しさを受け止める神さま。

人間の愚かな歩みを見て涙されているでしょう。小さな喜びを共に喜んでおられるでしょう。

そして、この時も私たちに向かって「共にいるよ」と熱い思いをもってくださるのです。

クリスマスは神さまが「共にいる」ことをイエス様を通して私たちにわかるように現れてくださった喜びの時なのです。

在宅サービス部門だよ

「退院後、在宅で安心して過ごして頂くために
～訪問リハビリの視点から～」

訪問リハビリ 安居 伸 悟

退院後、在宅生活への移行を円滑に行うためには、退院後の環境の変化に上手く対応できなければなりません。住み慣れた部屋・間取りの中で暮らす事は一見簡単のようにも思えますが、入院で慣れた生活リズムを在宅の生活リズムに戻すには時間がかかる場合があります。40代の患者様でも帰ってペースをつかむのに1ヶ月かかったという話も聞きました。実際、入院中に上手く出来ていた動作でも、いざ在宅環境の中で同じ動作を行おうとすると上手く出来なかったり、入院前と同じような生活をしようとして転倒される事をよく経験しております。逆に過剰に動きを制限しすぎて、入院時に出来ていた動作が出来なくなる事もあります。

家に帰った後、入院前とは違う身体機能の中で、身体機能を維持しながら家の環境に合わせた動きをしていく事は中々に難しいのです。このような問題に対し、安全でかつ身体機能を維持出来る様な生活の方法を提案したり、適切な介助指導・環境設定をアドバイスできるのが訪問リハビリです。訪問リハビリを利用する事により、出来ないと思っていた動作が出来るようになり、活動範囲が退院時より広がる事もあります。退院後、できるだけ多くの方に在宅で安心して過ごして頂くために、退院後の訪問リハビリの利用を検討して頂きたいと思っております。



ヘルシークッキング 12月

れんこんの鶏ひき肉挟み焼き

エネルギー 151kcal タンパク質 10.0g 脂質 6.4g (1人分)

★材料(2人分)

・れんこん	100g
・片栗粉	適量
・サラダ油	適量
・大根(すりおろしたもの)	80g
・ポン酢(A)	適量
・鶏ひき肉	100g
・れんこん(すりおろし)	60g
・濃口醤油	小さじ1/2杯
・塩	少々
・胡椒	少々
・生姜(絞り汁)	少々
・片栗粉	小さじ1/2杯



★作り方

- ① れんこんは皮をむいて6~7mm厚さに切り、水にさらす。
- ② ボウルに(A)を入れてよく混ぜ合わせる。
- ③ ①の水気を拭き取り、片面に片栗粉をつける。
- ④ ③の片栗粉の付いた面に②を挟み、軽く押さえる。
- ⑤ フライパンに薄くサラダ油を敷き、④を色良く焼き上げる。
- ⑥ ⑤とすりおろした大根を添え、ポン酢をかけて完成。



輪切りにすると穴が多数空いていることから「先の見通しが良い。」とされ、縁起物としておせち料理にも用いられる「れんこん」。れんこんは縁起物としてだけでなく「常陸風土記」の中にも「神世に天より流れ来し水沼なり、生ふる所の運根、味いとして、甘美きこと、他所に絶れたり、病有る者、この蓮を食へば早く差えて験あり」とあるように古くから薬用としても食べられている程栄養豊富です。今回はこんなれんこんの栄養についてご紹介します。

・ビタミンC

一般的にビタミンCは熱に弱いものですが、れんこんにはでんぷんが多く含まれるため加熱しても損失は少なく、安心して調理することができます。ビタミンCは疲労回復、美肌効果、風邪の予防などの効果があります。

・ムチン

れんこんを切った時に糸が引いたことはありませんか？これは納豆やオクラのネバネバと同じ「ムチン」と呼ばれる成分によるものです。ムチンは胃壁を保護する他、タンパク質や脂肪の吸収を助ける働きをします。

・レクチン

レクチンはタンパク質の一種です。レクチンはマクロファージという免疫細胞が細菌を見つけやすくなるように働き、免疫機能を促進します。

縁起物としてだけでなく滋養強壮の効果も優秀な「れんこん」。新年のおせち料理にも使われてみてはいかがでしょうか？

健康について

1 病棟 岡田 梨佳

ヴォーリス記念病院に採用が決まり、1病棟でお世話になり始めて今月で一年になりました。この一年間で出来るようになった事、何度もやっているのに未だに出来ない事など仕事をするということが、どれだけ責任を持ち臨むものかを学びました。

健康についてですが、私は何でもすぐに落ち込みやすく、泣きたくないのに涙が出てくる事が多々あり、周りの方々に迷惑をかけることが多いのですが、皆さんはストレスが溜まったらどうされていますか。

私の場合は、音楽を聴くのが好きで、ライブに行くことでストレス発散をしています。公演中はストレスを忘れることができ、私は一人で行くことが多いので、会場で同じ趣味の人と話すのもストレスの発散になります。是非一度だけでも、興味のある人の公演に行ってみてはどうでしょうか。



報告1

秋季追悼会に参加して

3病棟 戸 嶋 健 治

2015年度秋季追悼会が、10月17日に8家族の方々のご参加をいただき行われました。

本年度より2部制で行われており、第1部は礼拝堂にて安部チャプレン司会のもと追悼礼拝が行われました。前奏・讃美歌・聖書の朗読ののち故人の紹介が行われました。礼拝は「神様への賛美」であり、愛するご家族が天国にあって安らかに平安であるように願い、そしてご遺族はじめ皆様が天国から笑顔で見守り続けることを思い一つ一時を過ごしていただくものです。

第2部はケアハウス信愛館に於いて偲ぶ会が行われました。医師やスタッフなど病院職員とご参加いただいたご家族と共に故人

を偲ぶ時をお過ごしいただくものです。最初に「葉っぱの物語」のDVDを鑑賞し、そのあと病院で過ごされた思い出や、ご自宅に居られた時の様子や、苦労話などお話しいただきました。また、感謝の思いも語っていただきました。入院生活でのスタッフとのやり取りや疑問・感謝の思いなど、多くの内容についてお話しいただきました。

ご家族やスタッフ、それぞれいろんな思いがあり、それぞれ時間の経ち方の違いがあり、それぞれの時間軸の違いにより、この日を迎えられており、受け入れ方にも違いがあることを教えていただいた事は大変有難いことであり、神様に感謝申し上げたいと思います。

報告2

『リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015 inしが』に参加して

ホスピス病棟師長 増田 繁美

医事課 小林 恵美子

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」に昨年はホスピスからブース出展で参加し、イベントの内容を知って、とても温かい気持ちになりました。次は是非、病院全体での参加ができればいいなあと思っていました。リレー・フォー・ライフ・ジャパンは、タスキをつないで24時間歩き続ける、がん征圧・患者支援チャリティイベントです。今年はホスピス病棟でイベントをしませんか？と実行委員の方から声をかけていただき、入院患者さんにルミナリエバッグに願いやメッセージを書いてもらって、当日会場に飾っていただきました。



そして病院全体での取り組みを目指して呼びかけ、他部署の方にも協力していただき、ウォークに参加させていただきました。いのちをつなぐことをイメージして、「地域の人たちと共に歩む病院 ヴォーリス記念病院」と書かれた横断幕を持って3チームに分かれて歩き、順番に渡っていきました。少ない人数で参加したので、みなさん交代もできず、頑張っ

て歩いてくださったことに感謝しています。「このイベントをよく知らずに参加したけど、もっと早く知ってたらみんな誘ったのに〜」という嬉しい声も上がっていました。普段、運動不足の私も休暇村の自然の中で体を動かし、たくさん

10月24日休暇村近江八幡で正午から開催されました、がん征圧・患者支援チャリティイベント、リレー・フォー・ライフに参加させていただきました。

リレー・フォー・ライフとは、がんと24時間闘っている患者さんやその支援者たちの勇気を称え、希望をわかちあう場として世界20カ国で毎年開催されているそうです。世界中で400万人が参加するこのイベントでは、がんと向き合う人たちが病気を待つ仲間と出会い、イベントを通して絆を深めることで希望を見出しておられます。

滋賀県では昨年2014年10月から開催されているようですが、正直このようなイベントがあることすら知らなかった自分を恥じました。

がんと闘っておられる方のライフや色んな催し物があり、また各種団体の応援メッセージが書かれた横断幕などを手に180メートルのトラックを笑顔で歩かれていました。

当院も3班に分かれ順番にリレーウォークしました。180メートルのトラックや会場には、手作りのルミナリエバッグが用意され色んなメッセージが書かれていました。がんと闘い亡くなった家族や友人、また今現在病魔と向き合い闘っておられる方々、支えておられる周囲の方のメッセージを一つ一つ読んでいくと胸が熱くなるのを覚えました。がんである事を公にし頑張っ

て活動が続けられる方のお話などをお伺いして、なんて前向きで強いのだらうと感じました。また小さな子供が自分の病気をあっけらかんと言いきり楽しんでいました。ご両親の胸を思った時また胸が熱くなりました。

息子が3歳で腫瘍の手術を受けた時、何でうちの子なのと嘆き苦しみました。父もがんで亡くしました。その時、力になり支え、勇気を与えてくれたのはやはり家族・友人でした。

一人では何もできないけど見守ってくれる人、支えてくれる人、感謝してくれる人、そんな人たちがいるだけで数倍も何十倍も強くなれることを私は知っています。

私の力なんて微力も微力だけど何かのお役に立てればと思います。また来年も参加させて頂きたいと思います。



報告3

ヴォーリスすこやかフェスタに参加して

2病棟 田中 彩加

3病棟 太田 昌子

今年初めて参加させてもらいたくさん学ぶこともあり、貴重な体験ができました。

私は、在宅介護コーナーでの参加をさせてもらい、ベッド上でのオムツの当て方やパットの替え方などを中心にお客さんと話しを行ない、在宅介護に関心がある方や現在在宅介護を利用されている家族さんとも話しができました。

普段喋ることができない在宅でケアをされているスタッフと話をすることが出来、普段どのようなケアをして対応しているのかなど病棟とは違う視点でのケアの話を知ることができました。

お昼からは、病棟で過ごされている患者さんにも参加してもらい、健康チェックや介護用品の見学、老健のホールで行われた演奏会を聴きに持ってもらいました。とても良かったという声が聞けたので良かったです。



10月25日に行なわれたヴォーリスすこやかフェスタに参加させて頂きました。当日朝から外来で行なわれていたものは、簡易血糖測定や血圧測定等を行なう健康チェックコーナーやその結果を見ながら医師・看護師などに相談できる健康相談コーナーや福祉用具コーナーや食生活コーナーなど全部で9種類のコーナーがありました。

私は居宅介護の方たちと一緒に在宅サービスのコーナーを担当させて頂きました。私のいたコーナーでは、訪問診療についての紹介や展示、介護保険の申請の流れの説明、オムツの当て方をデモンストレーションしました。オムツの当て方では基本的な当て方はもちろん、状況に応じた当て方やオムツの種類の説明を行ない、希望された方には試供品を配らせてもらいました。見ておられた方たちの中には「今はまだ必要ないけどいつかは自分や家族がお世話になるかもしれない」と言われながら見学や質問などしておられました。

午後からは、老健センターでよし笛のミニコンサートとホスピスの細井先生の講演会がありそちらにも参加させて頂きました。ミニコンサートはみんなが知っている曲を中心に演奏され、聞いている方達の中には知っている曲を口ずさんでいる方もおられました。講演会では「幸福で充実した終わり方がいちはばん大事」という内容で先生の経験をふまえてお話されていました。

今回すこやかフェスタを通して地域の方とふれあう良い機会になったと思います。



報告3

ヴォーリスすこやかフェスタ開催

平成27年10月25日（日）10：00～15：30、ヴォーリス医療・健康・福祉の里にて第2回ヴォーリスすこやかフェスタが開催され、当日は大いに盛り上がりました。

さまざまな健康チェック・福祉用具展示・在宅・ヴォーリス展示パネル・終活写真撮影などのコーナーがあり、今回新しくスタンプラリーも行ないました。



イベントでは、リハビリセンター見学・メディカルフィットネス教室&体験・よし笛コンサート・ホスピス医細井先生による講演会など、多くのイベントも行なわれました。



報告4

第231回 ミュージックタイム

さる2015年10月24日、「第231回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。

10月のミュージックタイムは市内で活躍されています「におの会」の皆さんをお迎えし、コカリナの優しい音色を楽しみました。童謡や讃美歌、心暖かくなる一時でした。



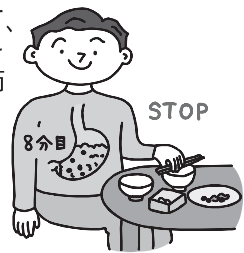


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日 時 12月17日(木) 12:00~13:30 場 所 新館研修室(病院内)
講 師 医師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成27年度)

回	月 日	内 容(仮)	講師予定
5	2月25日(木) 14:00~16:00	「自宅でできる簡単体操」	メディカルフィットネス トレーナー 久保 大志氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員: 30名
②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
③参加費 無料
④申し込み 4回目2月23日(火)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、右記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

メディカルフィットネスセンター

会 員 募 集

あなたの健康づくりをサポート

安心して楽しく運動して頂けるよう、からだの状態を評価し、お一人お一人の運動メニューを提供致します。

受付時間 9:30~17:00

利用時間 月・水・木・土/ 9:30~17:00

火・金/ 9:30~20:00

定休日 日曜日・その他(年末年始など)

近江八幡市北ノ庄町492

ヴォーリス老健センター 1階内

TEL 0748-32-5540

地域連携課

介護・入院・施設の入所等で、

お困りのことがあり

ましたら、お気軽に

お越しください。

本館2階の

エレベーター前です。



“患者サポート支援窓口”の設置

外来診療・入院生活・治療等についてお困りのことがございましたら
患者サポート支援窓口までご連絡下さい。

(担当 岡田・加藤・村松)

平成27年7月23日をもって夜診外来を終了と致しました。

患者様には御迷惑をお掛け致しますが、
ご理解ご了承の程宜しくお願い致します。

働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”

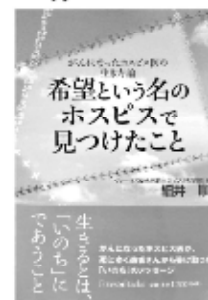


詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方論

希望という名の
ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院ホスピス(神室)院長 堀井直先生の著書が出版されました。

窓口販売のみ特典! 『先生の書庫サイン入り!』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、図書課受付にてお問い合わせ下さい。

ヴォーリス召天五十年 記念出版のご案内

第2弾

『神の国の種を蒔こう!』キリスト教メッセージ集



「隣人愛に基きだヴォーリスの生涯」から学んでいただくと

一瞬にあればよい。公開財団法人近江兄弟社の書庫より

2014年5月1日初版発行済み。

ご購入を希望の方は、図書課受付にてお問い合わせ下さい。

価格 2,150円(税込)